

平成 24 年度
10 年経験者小学校・中高校夏期研修会
実施報告

10 年経験者小学校・中高校夏期研修会をそれぞれ西日本と東日本で実施した。

東日本の会場は、東京ベイ幕張（千葉県千葉市）で 7 月 31 日（火）から 8 月 2 日（木）の 3 日間の日程で実施した。また、西日本は、同志社女子大学今出川キャンパス純正館（京都府京都市）で 8 月 6 日（月）から 8 月 8 日（水）の 3 日間の日程で実施した。参加者は、東日本は 60 名、西日本は 49 名であった。

10 年経験者研修は、中堅教員としての意識向上、また私学教員としての更なる充実を目指した研修であり、今回の研修内容は、中村中学・高校副校長の永井哲明氏の「生涯学習とキャリア教育を再考する」、本研究所専任研究員山崎吉朗の「私立学校の現状と未来」、日本大学法学部准教授堀切忠和氏の「危機管理と保護者対応」、同志社大学社会学部教授井上智義氏の「多様なニーズを持つ生徒とのコミュニケーション」について、それぞれ講義、分散会及びワークショップなどで、各分野の知識と技能を習得し、実践力を高めることに努めた。



研修内容は、東日本、西日本共に同一であるが、小学校教員向けに武蔵野東中学校校長の石橋恵二氏が「特別支援教育」、本研究所専任研究員大森隆實が「生きる力を育む学習指導の実際」並びに「小学校における漢字学習の在り方」（西日本のみ）の講義を行った。

最終日の総合討議での意見交換後、閉会式において参加者に修了証が授与され、3 日間の研修を終了した。